

2004年公民科倫理2学期期末考査(3年1,2,3,4,6,7,8,9組) 正解と解説

大問	問題番号	正解	正答率	配点	大問	問題番号	正解	正答率	配点
1 65.4%	1	3	88	2	2 60.5%	26	6	37	2
	2	4	81	2		27	3	47	2
	3	1	83	2		28	6	74	2
	4	4	63	2		29	3	77	2
	5	3	50	2		30	1	42	2
	6	4	30	2		31	2	79	2
	7	3	94	2		32	2	56	2
	8	6	65	2		33	3	77	2
	9	3	94	2		34	1	67	2
	10	5	76	2		35	1	44	2
	11	1	74	2		36	4	34	2
	12	7	73	2		37	3	52	2
	13	4	38	2		38	1	44	2
	14	3	78	2		39	2	81	2
	15	3	55	2		40	5	34	2
	16	1	28	2		41	4	60	2
	17	3	65	2		42	4	58	2
	18	5	49	2		43	1	72	2
	19	1	69	2		44	2	73	2
	20	2	54	2		45	2	78	2
2 57.8%	21	2	90	2	46	1	46	2	
	22	1	58	2	47	3	52	2	
	23	4	59	2	48	2	55	2	
	24	1	56	2	49	2	86	2	
	25	1	34	2	50	5	48	2	

平均
62.0 点

最高点
98 点

標準偏差
16.5

点数	頻度	累積
95~100	4	4
90~94	11	15
85~89	15	30
80~84	24	54
75~79	13	67
70~74	34	101
65~69	39	140
60~64	41	181
55~59	32	213
50~54	29	242
45~49	21	263
40~44	22	285
35~39	10	295
30~34	13	308
0~29	6	314

得点	偏差値
98	72
95	70
90	67
85	64
80	61
75	58
70	55
65	52
60	49
55	46
50	43
45	40
40	37
35	34
30	31

2004 年片岡担当倫理 2 学期期末考査 解 説

考査全般について

前回の中間考査の平均が 47 点だったので、今回の試験は 70 点くらいの平均を出すつもりで作ったのですが、結果は 62 点でした。問題が簡単すぎるかと思って出したいいくつかの難問が、正答率 20% 台や 30% になったせいで、全体的な平均が落ちたようです。しかし、皆さんの学習不足も否定できません。得点分布と標準偏差を見ても分かる通り、これまでで一番貧富の格差の大きい結果となっています。点数が不足している人は、3 学期の論文提出で乗り切ることができるよう早めに手を打ち、1 月終わりになって慌てないように気をつけること。

考査出題範囲はカントまででしたが、おそらく 2005 年入試ではカントが出題されると思います。センター利用者はしっかりと復習しておくこと！

第 1 問

問 1 [1] 正解 3 88%

ルネサンスに影響を与えた思想として、《新プラトン主義》をはっきりと掲げている教科書は少ないですね。というよりも、本校の教科書（東京学習出版社）だけが大学レベルでのルネサンス観を提示しているといっているでしょう。授業の中でも説明したように、いわゆる「ルネサンス観」には、古いものと新しいものがあります。一般に高校で教えられるルネサンスは「古代文化の復興」であり「神中心から人間中心へ」であり、「迷信から合理性へ」というようなイメージなのですが、大学レベルではそのような単純な図式では研究されていません。（ちなみに世界史の参考書では、山川出版社の『詳説世界史研究』ならきちんと新旧のルネサンス観について言及しています！）新プラトン主義に代表される神秘主義や、キリスト教も異教も同レベルで理解しようとするシンクレティズム（宗教的混合主義）など、現代的な合理性とはほど遠いイメージから、ルネサンスが読み解かれているのです。しかし、実際、高校生向けの多くの教科書や参考書や模試の中では前者のような記述が蔓延しています。それでは、センター試験ではどちらの立場から出題されるのでしょうか？ 少なくとも、ストレートに古いルネサンス観で出題されることはないと思います。すでに、2003 年の本試験では、イタリアルネサンスに先立つ 12 世紀ルネサンスをほのめかすようなリード文も出されていますから。あとで詳しく説明しますが、私は過去に近代自然科学思想で出題されたような、高校の倫理の枠組みに対する啓蒙的な問題が、ルネサンスについても近い将来出題されるのではないかと思っています

ます。ですから、ハイレベルな教養を持った東高生の皆さんは、新旧いずれのルネサンス観にも対応できるように準備しておきましょうね！

[2] 正解 4 81%

センター試験によくある、知らない用語でも文脈を読み込めば正答を導くことができる問題を作ってみました。たとえば、《カトリック》=《普遍的》という知識がなくとも、穴埋めの次の文「これに対して宗教改革は……中世的な教会の権威からの解放をめざすものであった」を読めば答えが分かります。ちなみに《プロテスタント》は《抗議者》、《オーソドックス》=《正統》=《東方正教会》、《パプテスタ》=《洗礼》=《幼児洗礼を認めないプロテスタントの一派》です。パプテスタ派はアメリカ最大の教派で、キング牧師もこの教派出身でした。

[3] 正解 1 83%

1517 年、ルターがウィッテンベルク城教会の扉に《95 条の提題》を掲示した時から宗教改革がはじまったと言われています。とても簡単な基本知識問題ですが、このような単純な知識を問う問題が、倫理のセンター試験では何%くらいあると思いますか？ 2004 年の場合、8 問×2 点で 16 点分でした。『キリスト者の自由』もルターの著作ですが、ここの選択としては適当ではないですね。『キリスト教綱要』はカルヴァンの著作で、ヨハネによる『黙示録』は新約聖書の最終巻です。

問 2 [4] 正解 4 63%

中世ヨーロッパの修道院を舞台としたウンベルト・エーコの同名の小説を映画化した『薔薇の名前』のなかで、シヨン・コネリーが演じている、バスカビルのウィリアムのモデルがウィリアム・オッカム(1285 頃～1349)です。残念ながら高校の教科書では軽んじられている思想家ですが、ペトルルカより 20 歳ほど年上で、同時代を生きたスコラ哲学者です。彼は、それまでのスコラ哲学が不完全な論理と不明確な言語に基づいた根拠のない形而上学的思弁に汚染されているとして、厳密な言語理論と論理学を打ち立てました。それは、キリスト教の信仰を哲学から切り離して純粋化するために行われたものでした。結果としてそれは、哲学と信仰の分離や近代自然科学を準備することになりました。たとえば、ルターはオッカムの神学の影響から「信仰のみ」という立場をとるようになりまし、オッカムの剃刀(かみそり)という、「ものごとの説明の原理はできるだけ少数で無駄のないように採らなければならない」という近代科学的な思考節約の原理なのです。ということで正解は。は神学と哲学を分離しようとしていますが、哲学を制限している点でドゥンス・スコトゥスの立場です。また、の「信仰と理性の内的総合」と言ったら、絶対この人の名前が出てこなくてははいけません。センター試験にポロポロ出てきます。誰ですか？ そうです。トマス・アクィナスですね。はドイツ神秘主義のマイスター・エックハルトです。神の本質と直接的に合

一するという発想が、教会權威の媒介を不要とするルターの思想に影響を与えたわけですね。

問3 [5] 正解 3 50%

これもこだわりの問題です。偉大な抒情詩人ペトラルカはラウラへの愛を歌っただけではなく、ラテン語の古典文献を読みあさり(ギリシア語については生涯初心者だったと自分で言っています)、聖職に就きながらも、詩人としての名誉欲と、愛人(一人じゃないかも知れないらしい)との間に2人の私生児をつくってしまうような情欲に悩みつつ、人間としての生き方の模範をキケロやアウグスティヌスに求めたのです。それが《人文主義》なのです。の万能人もイタリアルネサンス的な概念ですが、「人は欲しささえすれば、自分の力一つで何事でもできる」とするアルベルティの思想です。ちなみに《普遍人・万能人》という言葉は、プリントにも載せたブルクハルトのもので、

の《人間の終焉》というキーワードは、近代の人間中心主義思想を指摘したミシェル・フーコーの『言葉と物』のなかの言葉です。には誤字がありました。「教父」ではなく「恐怖」ですね。失礼しました。マキャベリの『君主論』の思想です。

問4 [6] 正解 4 30%

ピコ・デラ・ミランダほど誤解されている思想家はいないのではないかと思います。主著が『人間の尊厳について』で、自分の進むべき道を自分で選択できる《自由意志》こそが人間の尊厳の根拠であるという主張は、確かに現代と同じようなものに聞こえます。しかし、ピコの本当の思想は教科書 p.86~87 にあるとおり、新プラトン主義的で神秘主義的です。ピコの記述についても教科書によっては、明らかに生徒の誤解を招くような表記が少なくありません。その点で、本校で採用している教科書はすぐれたものなのです。ピコの思想で忘れがちなのは、人間の自由意志は《神から与えられた》ものだと考えた点。人間は植物にも動物にも神にもなるという点。そして、《神になる》という発想は、ユダヤ教のカバラ思想や、ヘルメス思想、ゾロアスター教とキリスト教(の新プラトン主義的解釈)を混ぜ合わせた、シンクレティズム(宗教的折衷主義)であるという点です。しかし、この観点でのセンター出題はまだありません。が、問題難化の中できっとそのうち出てくるはず。ということで、ピコの思想として適当でないのは「すべての宗教的束縛を否定した」とある です。

問5 [7] 正解 3 94%

これは簡単。の普遍人(万能人)ホモ・ユニベルサリスですね。スイスの歴史家ブルクハルトが『イタリアにおけるルネサンス文化』(1860)のなかで、ルネサンスが生んだ万能の天才をこのように呼びました。ちなみに 遊戯人(ホモ・ルーデンス)はオランダの歴史家ホイジンガの概念。職業人は禁欲的で勤勉なプロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神を説いたウェーバーの概念。経済人は、人間はセルフ・インタレスト(利己心)に基づいて経済活動をおこなうとするアダム・スミスの概念です。

問6

1999年の大問3は、高校倫理に対する啓蒙的な問題だったと言ってよいでしょう。この問題以前の公民科倫理で作られてきた近代自然科学のイメージは、《キリスト教的な迷信を克服して、近代合理的な科学を樹立する》というイメージ的なものでした。それが、コペルニクスもガリレイも、ケプラーもニュートンですら、《神の創った自然法則を探究することによって神の意志を知る》という目的意識を持っていたことを、センター試験の問題自体が示唆したわけ。その辺の新しい解釈を前述の『詳説世界史研究』(山川出版社)から引用してみましょ。

近代科学の目も、こうした占星術や錬金術と関連を持ちながら登場してくるのである。ルネサンス期の科学は、占星術や錬金術と必ずしも明確に区分できない側面もあった。宇宙や人間とそれを支配する基本原理について、占星術や錬金術に影響をもったのはヘルメス主義である。架空の古代哲学者ヘルメス=トリスメギストスの著書とされる『ヘルメス文書』*が15世紀の人文主義者フィチーノにより翻訳され、当時の多くの知識人に読まれていたのである。プラトンのイデア説を発展させ、神秘主義思想にもつながる新プラトン主義も流行した。迷信・魔術・神秘主義・科学は混然として、まだ明確には分けられていなかった。[*「ヘルメス文書」群と呼ばれるものは紀元前のエジプトのヘレニズム文化の中で生まれた文書群で、イスラム世界では早くから知られていた。魂・物質・現象や人間と宇宙の関係を説いている。これらは古代末期神秘主義思想、神秘的-オカルト的な知識の体系で、16~17世紀の知識人の関心をひいたものである。](p.231~232)

[8] 正解 6 65%

[9] 正解 3 94%

[10] 正解 5 76%

[11] 正解 1 74%

[12] 正解 7 73%

ちなみにトリチェリ(1608~47 イタリア)は真空実験をし、ラポアジェ(1743~94 フランス)はフランス啓蒙思想期の化学者です。

問7 [13] 正解 4 38%

これは正答率が低い問題となりました。ルターの信仰義認説をカトリック側が批判することができなかったのは、その説が聖書の中にあっただけです。新約聖書の中の『聖パウロによるローマ信徒への手紙』にあるのが、「このように神は忍耐してこられたが、今この時に義を示されたのは、ご自分が正しい方であることを明らかにし、イエスを信じるものを義となさるためです」(ローマ3:26)という言葉です。これはしっかり押さえておきましょう。

問8 [14] 正解 3 78%

カルヴァンの予定説は人間の救済についての神の予定(選り)を信じ、自由意志に基づく善行などの救いに関わる人間側の要因を否定します。は「行為の善悪に応じて」というところが誤り。また、のようによつてすべての人間に救

いをもたらすという発想は正統教義にはない。は力学的・機械論的世界観をもたらした決定論。

問9 [15] 正解 3 55%

マックス・ウェーバーの著作『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』は是非知っておいてください。資本主義のエートスがカルヴァンの職業倫理によって形成されたとする説です。『孤独な群衆』は《他人指向型》の大衆社会を批判したリースマンの著作。『無限、宇宙及び諸世界について』はジョルダノー・ブルーノの著作。

『人間の尊厳について』は言うまでもなく、ピコ・デラ・ミランドラの著作ですね。

問10 [16] 正解 1 28%

この問題は難しかったようですが、ヒントはデカルトの自然観を批判したという点ですね。パスカルは人間は虚無と無限の《中間者》として不安を抱えた存在であり、デカルトの言うような哲学原理に安住することはできないのだといひます(資料集 p.21 人間の不安, p.143 中間者を参照せよ)。ということで が正解です。は「万物の根源は水である」とも言った自然哲学者タレスの言葉です。

はコペルニクスで、は《生命の創造的躍動》=《エラン・ヴィタル》による創造的進化を説いたベルグソン(1859~1941)の言葉です。ベルグソンは授業で扱っていませんが「生の哲学」(資料集 p.221)を構築した人として知られています。

問11

著作の引用から作者を選ぶという問題は、センター試験ではあまり出題されません。ですが、著作の引用の中からその思想家に固有のキーワードや概念を抽出できるかを問う問題ですので、その思想家の著作と思想をしっかりと理解しているかが問われる問題ですよ。

[17] 正解 3 65%

キーワードは《君主》と《狐と獅子》でしょうね。権謀術数主義(マキャベリズム)にもとづく『君主論』の著者マキャベリが正解です。

[18] 正解 5 49%

これは、アホの女神モリヤが自分を礼讃しているところですよ。ということで、エラスムスの『痴愚神礼讃』です。

[19] 正解 1 69%

キーワードは《ユートピア》。とくればトマス・モアですね。

[20] 正解 2 54%

ベアトリーチェはダンテが『新生』『神曲』の中で描いた永遠の愛の寓意としての女性です。ダンテも奥の深い詩人ですよ。

第2問

問1

[21] 正解 2 90%

簡単な問題です。ロックの経験論の「人間の心はタブラ・ラサ(白紙)」の知識を問いました。のホワイト・ペッパー(白胡椒!?)を選んだ人が6%ほどいましたが、変な選択肢でごめんなさいね。センス・データは《感覚与件》と訳されますが、dataは複数形でdatumが単数形だってことは知ってるよね?高校倫理では出なそうですが、英単語としては重要ですよ。英語の辞書も引いてみて下さい。

[22] 正解 1 58%

デカルトの思想の基本! にしては正答率が低いですね。『方法序説』の冒頭でデカルトは《良識: ボン・サンズ》(=コモン・センス=理性)が万人に平等にそなわっていることを述べています。

[23] 正解 4 59%

これもカントの基本! 理性を吟味、批判して、その権限と限界を確定する哲学がカントの批判哲学。ちなみに《批判理論》というと、フランクフルト学派ホルクハイマーの著作の名前でもありますが、フランクフルト学派に代表されるマルクス主義的社会思想の現代的展開を指すこともあります。《道具的理性批判》は自然を支配する道具としての理性のあり方を批判したホルクハイマーのキーワードです。

問2 [24] 正解 1 56%

の「政治的知識によって人間は社会を変革できる」を選んじった人(20%)は、ベーコンの学問と思想の「大革命」から引っかけたのかな? の「科学的知識によって人間は自然を支配できる」についても、ベーコンの「知は力なり」と「自然は服従することによってでなければ征服されない」から、8割くらいはできると思ったけどねえ。

問3

選択肢の中に隠れている概念やキーワードを読み取ることができるかを問います。

[25] 正解 1 34%

は「生得観念を否定した」=人間の心はタブラ・ラサ、でロックです。

[26] 正解 6 37%

は因果律を否定したヒュームの思想。

[27] 正解 3 47%

は「存在するとは知覚されることである」のパークリーの概念。

は「自然への服従と支配」でフランシス・ベーコンは人間の数学と自然科学に対する認識能力を肯定し、形而上学の認識能力を否定したカント。

は簡単。コギトの哲学デカルトです。

問4

センター試験ではこのような単純な知識を問う問題の

出題は少ないのですが、点数稼ぎの出題です。

[28] 正解 6 74%

これは簡単。デカルトの『方法序説』でも、これが74%とは大きく読み違えました。これが9割台いかないと、このテストの平均70点は無理だよなあ。

[29] 正解 3 77%

ライプニッツの『单子論』ってプリントの穴埋めのまんまで。コメントすることはありません。(-_-メ) (メ -_-)

[30] 正解 1 42%

カントの著作のうち、『純粋理性批判』か『実践理性批判』かで悩むところかな？ 道徳論だから後者です。

『パンセ』はパスカル。『ノヴム・オルガヌム』はF・ベーコン。『資本論』はマルクスで、『法の哲学』はヘーゲルの著作でした。

問5

デカルトの二元論と世界観を問う問題。

[31] 正解 2 79%

精神と物体が別個の実体だということです。

[32] 正解 2 56%

デカルトの機械論的自然観(世界観)は自然を物体=延長としてとらえ、運動を位置の変化として幾何学的に研究する方法を打ち立てました。それが近代の機械論で、当時完成した機械だった時計をモデルとして、自然を外から与えられる運動によって法則に従って動く部分の集合であると見たのです。

問6 [33] 正解 3 77%

これも、汎神論がどのような概念かが分かれば容易に選ぶことができます。神は自然を越えて存在するのではなく、世界=自然のすべてが神であるという考え。観念論の思想。アニミズム。無限な宇宙を説くブルーノの思想。

問7 [34] 正解 1 67%

ライプニッツの予定調和説。信仰義認説。アダム・スミスの神の見えざる手。カルヴァンの予定説。

問8 [35] 正解 1 44%

ヘーゲルは試験範囲には入っていませんが、文を読んだ上で、カントの思想を理解していればできるということで出題しました。文の中でヘーゲルはカントの道徳説を「一面的で理想主義的」と批判し、「現実...を貫いている合理的な秩序」の認識を主張しています。そこからすると「法則」そのものを否定するとは選択肢からはずれず。ちなみに「単独者」はヘーゲルを批判したキルケゴールのキーワードです。また、「行為の善悪の基準はない」は道徳も倫理も成立しないことになってしまっています。ということで消去法で選ぶこともできますが、動的な現実を動かす法則を《弁証法》であるとしたのがヘーゲルであることを知っていれば、より容易に選ぶことができます。

問9 [36] 正解 4 34%

カントの《コペルニクス的転回》は、認識の主導権が客

観から主観に転回したことを著しています。それは しかありませんね。とモカントの主張ですが、コペルニクス的転回をあらわしているわけではありません。を選んだ人が3割もいましたが、カントはルター派の流れをくむ敬虔なキリスト者でした。

問10 [37] 正解 3 52%

このような概念に一致する具体的な例を選ぶ問題は、理解力や判断力を問う高度な問題なので、今後増加するでしょう。ここでは、参考文中の「善き意志(善意志)は...それ自体で善い」にあてはまるのは、「生き続けることが人間の義務」であるですね。

第3問

問1 [38] 正解 1 44%

この問題のヒントは「万物を貫く理法概念」を通して自然法思想に影響を与えたということです。つまり、《理法》=ロゴスでストア派が出てこないことには解けない問題です。

問2 [39] 正解 2 81%

『戦争と平和の法』がグロティウスの著作。『海洋自由論』も有名です。『永久平和のために』はカント。『統治論』はジョン・ロック。『法の精神』はモンテスキューですね。

問3

これは難しかったかな？

[40] 正解 5 34%

ホッブズの言う自然権とは、自己保存の権利のことでした。万人が自己保存を主張から戦争状態に陥るといのがホッブズの自然状態の概念です。

[41] 正解 4 60%

ロックの言う自然権は、所有権です。所有権を守るために社会契約を結ぶというのがロックの主張です。

問4

これまた、ホッブズとロックの社会契約に関する基本問題。

[42] 正解 4 58%

ホッブズの社会契約は自然権を国家権力に譲渡する譲渡契約。

[43] 正解 1 72%

ロックの社会契約は政府に市民の自然権を守るための権力を信託する信託契約。ちなみにルソーは個人の特殊意志を放棄して、「自己をあらゆる権利とともに共同体に譲り渡す」(『社会契約論』)譲渡契約ですよ。

問5 [44] 正解 2 73%

ロックの著作『統治論』を選ぶサーピス問題。この出来は(T_T)。『統治論二編』という選択肢ならできたか？

問6 [45] 正解 2 78%

問題の趣旨としては、具体的な例の中から、利己心に基

づかない道徳的行為を読み取って選ぶことができるかという問題で、ホッブズの道徳論を知らなくても、現代的読解力で解ける問題です。の「相手に自立した人間になってもらいたい」という動機は、相手のために思っていて利己的ではないため、これを選べばよいわけです。

問7 [46] 正解 1 46%

3つめのロックの問題なので、少しひねってみました。ロックを経験論でも社会契約説でもなく、啓蒙思想家という視点から理解しているかを問う問題です。『寛容に関する書簡』はヴォルテールに影響を与えた宗教的寛容を説いた著作です。またもや登場『法の精神』はモンテスキュー。『人間本性論』はヒュームですが、ロックの『人間知性(悟性)論』とまぎらわしい選択肢です。これを選んでしまった人は29%いました。を選んだ17%の諸君!『マグナ・カルタ』って中学校で習わなかったか?13世紀イギリスの大憲章は、17世紀の市民革命より400年も昔の話しだぞ。

問8 [47] 正解 3 52%

ルソーの著作の中に、東洋のルソー中江兆民の著作を紛れさせてみました。『一年有半』は中江兆民晩年の著作です。さすがに『三酔人経綸問答』では答えがバレバレなのでこちらにしましたが、資料集にも用語集にも載っていますし、そもそもルソーの著作は『社会契約論』以外もすっかり覚えておきましょう。

問9 [48] 正解 2 55%

問8より難しい問題にしたつもりが、こっちの方が正答率が高かった。明らかにルソーの言葉と分かるのは、「生まれながらに自由...鉄鎖につながれ...」と「...一般意志...」で、悩むのがかです。「人は欲しささえすれば、自分の力一つで何事でもできる」はルネサンスの普遍人(万能人)アルベルティの言葉であり、資料集 p.138 には太字網がけで紹介されています。一方の「人間よ人間的であれ...」はルソー『エミール』の言葉として、資料集 p.162 に、やはり太字網がけで紹介されています。

問10

啓蒙思想の特徴を選びます。

[49] 正解 2 86%

啓蒙思想が市民革命を支えたことは皆さんよくご存じでした。

[50] 正解 5 48%

フランスの啓蒙思想家コンドルセに代表される進歩的な歴史観も啓蒙思想の特徴です。

階級闘争はマルクス主義の概念ですね。

啓蒙思想こそ理性中心主義です。これが批判されるのは20世紀の構造主義。文化の相対性という構造主義文化人類学のレヴィ=ストロースでしょうね。

たしかにフランスの啓蒙思想の中から無神論は生まれましたが、啓蒙思想の特徴は宗教的寛容にあります。したがって、信仰を徹底的に否定する側面は確かにフランス革命期にはありましたが、英仏の啓蒙思想の特徴の説明とし

ては適当ではありません。

イギリス啓蒙思想の認識論上の立場は経験論(ロックを見よ!)ですから、観念論が主流とは言えませんね。

以上!